

令和7年度地域に飛び出す学生支援事業「課題一覧」

番号	テーマ	課題・思い描く未来の姿	自分たちのアイデアからの活動で地域又は社会貢献しませんか？ (学生の皆さんに力を貸してほしいこと)	(参考) 課題に対する現状の取組状況	担当課・連絡先
1	ごみ減量推進	循環型社会（ゼロカーボン社会）の実施の向けて、ごみ減量が必要となっている。また、広報についてはしみんだより等を利用しているが、若者にも目につくような取り組みが必要。	ごみ減量の取り組み、啓発についてSNS（インスタグラム、X等）を活用した効果的な情報発信、「雑がみ削減」や「食品ロス削減」のPR啓発や回収方法の提案や試験実施等	市ホームページ、しみんだより等で情報発信しているが、SNS等の活用は不十分である。「雑がみ削減」や「食品ロス削減」については、ごみ減量に関する出前講座などを通してPR啓発を行っている。食品ロス削減については、食品小売店舗での「てまどおり」広報（ポップ・ポスター掲示）実施している。	廃棄物対策課 (0742-71-3001)
2	脱炭素化のPR・啓発	2050年までに目指す脱炭素社会（市全体で温室効果ガス排出実質ゼロ）の実現には、市民等にも脱炭素化の取組（省エネや再エネの導入等温室効果ガス排出を抑制する取組）を実施してもらう必要がある。	市民や学生等に対して、奈良市ゼロカーボン戦略アクションプラン等に記載がある脱炭素化の取組を促すPR・啓発活動やイベント等の実施	民間事業者向けには設備投資に対する補助金制度を実施し、市民向けには、学校現場や市民からの要望に応じた環境教育講座の実施や、集客施設での環境に関するイベント・啓発事業を行っている。	環境政策課 (0742-34-4591)
3	若者をもっと活躍する奈良市へ！	奈良市の人口は5年連続社会増(転入超過)。しかし、まだ知られていない奈良の魅力的な企業や地域で若者が活躍するプロジェクトも多い。広く知られる機会を作ることで、さらに若者が集い、活躍する奈良市を実現したい。	・就職先候補になる奈良の魅力的な企業のPR（例：企業の取材と学生へのPRなど） ・学生が活躍しているまちであることのPR（例：奈良で活躍する学生の取材とPRなど） ・学生が気軽に立ち寄れる場づくり（例：カフェ運営や自習室等の運営など）	学生の交流イベント「奈良の学生MeetUp」の開催や学生の地域活動に広報協力することで地域と学生との関係づくりを支援している。奈良市公式LINEで「学生向けおすすめ情報」を発信している。	秘書広報課 (0742-93-3470)
4	ふるさと納税のPR・寄附拡大へ！	奈良市のふるさと納税の情報（市の魅力や返礼品情報）をもっと発信したり、新たな魅力的な返礼品を開発することにより寄附の拡大につなげることが必要。	・ふるさと納税のPR・情報発信 ・ワークショップや市民への聞き取り調査を実施して、ふるさと納税新規返礼品のアイデアの提案	・SNSによる発信や市内施設等にパンフレットを設置することによりPRしている。 ・市内の事業者へ返礼品登録の提案を行っている。	秘書広報課 ふるさと納税室 (0742-93-3274)
5	若者から発信する文化振興！	様々な理由によって文化芸術に触れる機会が減少している中、今後の文化振興のためには様々な年代を対象とした文化に触れる機会が必要。	アウトリーチ（例、音楽家がホール以外の施設等に訪れ演奏活動）やワークショップ、公演など文化芸術に触れる機会の創出(例、子ども～高齢者まで全ての人が気軽に楽しめるプログラムやコンサートの開催、福祉施設へのアウトリーチ活動)	福祉施設や子どもの施設等へのアウトリーチ（芸術家派遣）、参加・観覧無料のイベントや展覧会を開催している。	文化振興課 (0742-34-4942)
6	20、30代へのスポーツ推進！	「成人の週1回以上のスポーツ実施率70%以上」（2026年度国目標）に向けスポーツ実施率を向上するためには、実施率の低い20代、30代のスポーツへの参加を増やすことが必要。	実施率の低い、20代、30代（特に働く世代、子育て世代）が参加できるスポーツイベントの開催などのスポーツを行う機会の創出	市民スポーツ大会やスポーツ体験フェスティバル等のイベントを通じて、スポーツ振興に取り組んでいる。	スポーツ振興課 (0742-34-5376)
7	若者から発信するダンジョキョウドウサンカクとは	女性に比べ男性は育児休業が取得しづらいなど性別による役割分担意識が現在も残っているため、若い世代に男女共同参画について主体的に考えてもらう機会を創出し、人の意識や社会の雰囲気を変えようとする取組が必要。	若い世代が男女共同参画について主体的に考える機会の創出 （例：大学生を対象に、普段どのような場面や状況でジェンダーギャップを感じるかや、ジェンダーギャップの解消に向けてどんな取組みなら参加したいかについて調査を実施するなど）	市内の大学で学生が結婚や家族、子育てや仕事をテーマにライフを含めてキャリアを考える講座や、若い男性の家事育児の参画を促進する講座・ワークショップを実施している。	共生社会推進課 男女共同参画室 (0742-81-3100)
8	東部地域への誘客を考えよう！	市東部地域(田原、興東館柳生中学校区)は、市中心部から車で約30分の場所、で、自然豊かな観光資源があり、気軽に外出かけスポット。観光や地元産業である農業の活性化のためには、交流人口や関係人口の創出が必要。	20～30代の子育て世代をターゲットにした情報発信の企画立案のほか、観光キャンペーンやTobu高原マルシェの企画立案、実動など、東部地域への誘客全般。	里山の魅力を宿泊や体験を通じて楽しむことができる「さとやま民泊体験事業」を展開し、20～30代の子育て世代をターゲットに、誘客キャンペーンやイベントの実施、HP等での情報発信を行っている。	東部出張所 (0742-93-0001)
9	民生委員・児童委員活動の広報に について考えてみませんか	民生委員・児童委員の成り手・担い手不足。その主な要因には、高齢化や定年退職後の労働者の増加、そもそも民生委員、児童委員の「認知度の低さ」が大きいとも考えられ、市民へのPR・啓発が必要。	民生委員・児童委員活動のPR・啓発 （例：学生等へのアンケートの実施による認知度の把握や、民生委員・児童委員の活動に参加し、活動における印象を把握し、それを基に必要な広報等について分析し提案する。SNS活用、ポスター作成、ワークショップ開催等）	しみんだよりへの掲載（令和4年2月号、令和4年5月号）や、奈良交通バスの車内広告掲載（令和4年5月）	福祉政策課 (0742-34-5196)
10	知ってほしい、こんな仕事もあるんだよ！ ～介護業界の情報を、若者をはじめ幅広い世代へ発信しよう～	現在、介護業界の人材不足はとても深刻な問題です！特に若い世代の就職希望者が非常に少なく、これは一般的に本業界に関する認知度の低さやマイナスイメージがあり、就職先の候補になりづらいことが理由と考えられます。	介護業界そのものや本業界への就職に対する学生等の認識の実態把握と就職先の候補に考えてもらうきっかけ作り。 （例：・学生等へのアンケート調査の実施 ・現場見学や職員へのインタビュー ・公共の場での展示やSNS等での啓発）	・市役所内で、介護業界の啓発に関するパネル展示の実施(年3回) ・介護資格を取得するための研修受講料の助成 ・介護に関するイベント等の広報（メール、奈良市HP、課公式SNSで）	介護福祉課 (0742-34-5422)
11	ヤングケアラーについて、発信しよう！	R6.6ヤングケアラーへの支援が法制化され、対象者は概ね30歳未満を中心と拡大されました。身近にいるかもしれないヤングケアラーへ気づきを促し、相談先を紹介することで、支援へ繋げて行くことができると考えられます。	市民や学生等に対してヤングケアラーの理解を促すPR・啓発活動やイベント（文化祭等）の実施	奈良市でヤングケアラーコーディネーターおよび相談窓口を設置。併せて「子どもケアラーサポート」（サポーター派遣事業）を実施。HPやSNSで啓発を行っている。また、関係機関への啓発と支援体制の構築ができるよう研修会を実施。	子ども育成課 (0742-34-5042)
12	フードバンクの力を広げよう！ヒトとモノのつながりを育む広報強化	事業の拡大・継続には、フードバンク事業をより多くの人に幅広く知ってもらう事が不可欠。広報強化を行うことで協力ボランティアや、寄附品の増加を実現したい。	事業の周知と参加協力を目的としたフードバンク事業の広報手段についての提案と実証。	HPや市公式SNSでの掲載、フードドライブ強化月間やボランティア体験会の実施を行っている。	子ども育成課 (0742-34-5042)
13	地域の自殺対策のキーパーソン（ゲートキーパー）の養成	広く市民にゲートキーパーになってもらい奈良市の自殺リスクを下げたい。ゲートキーパーの参加者の増加が必要。	地域への自殺対策の啓発や、ゲートキーパーのPRや養成について取り組みを実施。	ゲートキーパーに関心を持った地域の団体から依頼を受け、職員を派遣して養成研修を開催している。	保健予防課 (0742-93-8397)
14	自分ごとで考えよう！ HIV・性感染症予防の情報発信	若年層へHIV・性感染症予防の正しい知識や保健所検査について、直接学生に伝える機会がほぼなく、有効な啓発が必要。	HIV・性感染症や予防について、学生への啓発や学生同士が自分事としてとらえる取り組み方法等を考え、実施。	市内大学へ年2回、ポスターやちらしを配布している。	保健予防課 (0742-93-8397)
15	自分ごとで考えよう！ 子宮頸がん検診の啓発	大学生も含め20歳代の子宮頸がん検診の受診率が低いため、20代への受診の必要性の啓発が必要。	子宮頸がんの理解が深まり子宮頸がん検診の受診行動につながるようSNSでのPRや啓発イベントの実施。	子宮頸がん検診の受診勧奨として、4月1日時点20歳の女性市民に無料クーポン券、年度末年齢が20歳以上の偶数年齢の女性市民に受診票（けんしんパスポート）を送付。	健康増進課 (0742-34-5129)

番号	テーマ	課題・思い描く未来の姿	自分たちのアイデアからの活動で 地域又は社会貢献しませんか？ (学生の皆さんに力を貸してほしいこと)	(参考) 課題に対する現状の取組状況	担当課・連絡先
16	過疎地域（田原中学校区・興東館柳生中学校区）における地域学校連携活動の活性化	田原及び興東館柳生中学校区では人口減少に伴い、学校の統廃合が進み、授業支援や地域と学校の合同イベント等の地域学校連携活動の担い手不足や高齢化が問題となっている。	「教育」を要とした地域活性化（東部振興）を目指し、子どもも大人も参加できる地域特性を活かしたイベントを地域住民を巻き込みながら企画運営を行う。地域住民を巻き込むことにより、地域学校連携活動の担い手育成につなげていただきたい。	担い手である地域コーディネーターの知識の習得やスキルアップを目的とした研修を実施するとともに、他校区での担い手確保の取組の好事例を紹介し、担い手育成の支援を行っている。	地域教育課 (0742-34-5366)
17	放課後子ども教室を盛り上げよう！	現在市内全42小学校で放課後子ども教室（放課後等に子どもたちに多様な体験の機会を提供する教室）を実施しているが、担い手の固定化・高齢化により、プログラム（企画）のマンネリ化や現代の子どもに応じたプログラム更新が必要。	子どもたちを惹きつけるとともに資質向上にもつながるような放課後子ども教室におけるプログラムやメニューの開発・実施。	教室の実施内容（プログラム開発）に苦慮されていることより、他部署が管轄する出前講座やNPO等から案内があったプログラム（企画）等に関する情報提供を各教室に行っている。	地域教育課 (0742-34-5366)
18	メタバース空間を活用し、不登校の子どもへ多様な学びを提供したい！	不登校の子どもへオンラインの居場所を提供し、多様な学びの選択肢を見せることで、次の支援につながる一歩を目指す。	R7年度導入予定のバーチャルHOP（メタバース空間上のそれぞれのアバターを利用し、様々なイベントやコンテンツを通して支援員や子ども同士の交流を行う事業）において、定期的なイベントやコンテンツの提供を開発、実施。	R6年度は3月末ごろまで実証として同様の空間を提供しており、2回のイベントや定期的な交流を行っている。	教育支援・相談課 (0742-36-0401)
19	図書館での講習会やイベントの開催に向けた企画立案	図書館で開催する絵本の読み聞かせ等の本に関する講習会やイベント等がコロナにより途絶えており、新たな参加者層へ呼びかけてのイベント企画が必要。	「自分たちが参加したい講習会やイベント」の視点で講習会やイベントを企画・実施する。	大学教授に依頼し、ボランティア養成講座を実施。また、学生たちによるおはなし会を不定期で開催している。	中央図書館 (0742-26-6124)